

残廃材を原料とした建築用断熱材の開発

岩手大学農学部共生環境課程 教授 関野 登

連絡先 E-mail: iptt@iwate-u.ac.jp

TEL: 019-621-6494

キーワード: 残廃材、断熱パネル、バインダーレスチップ

概要

環境問題に対する関心の高まりや産業廃棄物の法規制強化により木材産業における残廃材の再資源化技術が重要性を増している。そこで残廃材を再資源化し、木材小片を原料とする建築用断熱パネルを開発した。

シーズの特徴

木材小片（ブレーナ屑）を堆積し、バインダー（接着剤）を使わないで適度に圧縮した厚物パネルを成形した。建築用の断熱材として開発を進めている。

◎ 開発した建築用断熱パネルの特徴

- ① バインダレス成形
- ② 施工の簡略化
- ③ 解体および再資源化の容易性
- ④ 火災時の遮熱性



これまでの活用事例・技術移転

研究者からのメッセージ

木質の残廃材を再利用した建築用断熱材

参考情報: 関連特許 特許 第3607254号

共同研究企業: 株式会社 ヤマウチ

問い合わせ先: 岩手大学地域連携推進センター E-mail: iptt@iwate-u.ac.jp

Tel: 019-621-6494